



「昔の道具」出前授業！（3年）

1月21日（火）、徳島県立博物館の庄武憲子さんをお招きし、3年生が社会科の授業として「昔の道具」についてのお話と実物を見せて頂きました。

3年生の子どもたちにとっては、初めて見る道具がたくさんありました。庄武さんからは、一つ一つ丁寧に道具の名前や使い方についてお話をして頂きました。

私自身にとっては、懐かしい道具でしたが、子どもたちにとっては、自分の日常生活の中ではほとんど見る事がなくなった道具だったので、使い方や名前が分からない道具がたくさんありました。例えば、蓄音機やレコードは、実物を初めて見たと思います。また、アイロンも電気アイロンの使い方は知っていますが、炭を使ったアイロンの使い方は知らなかったようでした。今回の学習で、自分たちの使っている道具と昔の道具を比べてみることで、それぞれにいろんな新しい発見が出来たようでした。

庄武さんからは、次のようなお話と道具を見せて頂きました。

①せんばこき
(江戸から昭和にかけて)



②わらぞうり
(鎌倉から昭和にかけて)



③かんいかまど
(平安、江戸から昭和)



④電気炊飯器
(昭和30年代から)



⑤蓄音機
(明治から昭和)



⑥めんこ
(明治から昭和、現在)



⑦かすりのきもの
(江戸から現在)



⑧ひのし
(平安から昭和)

⑨すみびアイロン
(明治から昭和)



⑩はこぜん
(江戸から昭和)



※庄武さんからは、昔のめずらしい道具についてのお話をたくさんして頂きました。さらに、実際の道具も見せて頂き、さらに実際に道具に触らせて頂きました。ありがとうございました。

<詳しくは、3年生の子どもたちに聞いてください。>

